



シャロームだより

8月は、花火大会や夏まつりなど、暑い夏を吹き飛ばしてくれるような行事がたくさんありましたね。9月になってもまだまだ暑い日が続くと思いますが、熱中症には気を付けながら、楽しく過ごせる工夫をしていきたいですね。シャロームでは、部屋や水遊びで使える手作りおもちゃの制作を行っています！ぜひ遊びに来てくださいね(^^) /

また8月には、南海トラフ地震臨時情報・巨大地震注意が発表され、我が家の防災対策は大丈夫かな？と不安になった方も多かったのではないのでしょうか。日用品や食品はローリングストックするなどして、突然起こる災害に対応できるようにしておくといいですね！



防災対策は大丈夫ですか？

小さい子がいる家庭では、どんなことに気を付けて対策をすれば良いのでしょうか？防災グッズだけで十分でしょうか？一度チェックしてみましょう！（ここに書いたのはほんの一部です）

- ①緊急時の連絡先や避難所は、なんとなく決めてある
- ②非常グッズをセットで購入して、そのまま大切に保管してある（中身は開けていない）
- ③備えている非常食を試食していない
- ④大切な人の命は、自分が命を懸けて守ろうと思っている
- ⑤非常グッズをしっかりと備えているから、我が家の防災は完璧だ
- ⑥赤ちゃんができたばかりなので、今は子育てに忙しく防災の時間はとれない

当てはまるものはありますか？当てはまった場合どんなことが起こるのでしょうか？

チェック項目がそのままだったらこんなことが起こるかもしれません

- ① 家族が再開し、安否確認が取れるまで数日かかるかもしれません。
- ② いざ使おうと思った時に、非常食の期限が切れていたり、非常グッズの使い方がわからないということも
- ③ 非常食によっては、小さいなお子さん・高齢者の方が食べにくいということもあります。事前に試食をしてから備えましょう。
- ④ 大きな揺れの中では、隣の部屋の子どものところに行けなかったという体験も。また、24時間365日大切な人のそばにいられるわけではありませんし、防災の基本は最悪な事態を想定し、備えること。発災時にそばにいないことを想定し、備えることが大切です。
- ⑤ モノを備えるだけが防災ではありません。自分の安全性を高めたり、お子さんと一緒に自分で自分を守る方法を学ぶことも、欠けてはいけない備えのひとつです。
- ⑥ 日常生活に困難(大変なこと)がある人ほど、被害が大きくなります。子育てや家事の延長で備えていくことや、親子遊びの中に防災を取り入れることも可能です。小さいお子さんがいる家庭ほど、しっかりと備えていきましょう。

